

各務原市人口ビジョン

第2期しあわせ実感かかみがはら総合戦略

改定の概要

令和6年10月30日

令和6年度第1回しあわせ実感かかみがはら地方創生懇話会

○人口ビジョン

- ・人口ビジョンについて……………P3
- ・人口ビジョン改定の考え方……………P7
- ・人口ビジョン改定の概要……………P8

○総合戦略

- ・総合戦略について……………P10
- ・総合戦略改定の考え方……………P15
- ・総合戦略改定の概要……………P16

○人口ビジョン・総合戦略の改定体制……………P17

○人口ビジョン・総合戦略改定のスケジュール……………P18

○人口ビジョンとは

- ・平成26年11月施行「まち・ひと・しごと創生法」に基づく計画。
- ・国の人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を踏まえ、地方公共団体における人口の現状と将来の展望を示す計画。

○人口ビジョンの掲載項目

- ・人口動向分析(人口推移、自然増減・社会増減 など)
- ・将来人口推計
- ・人口の将来展望

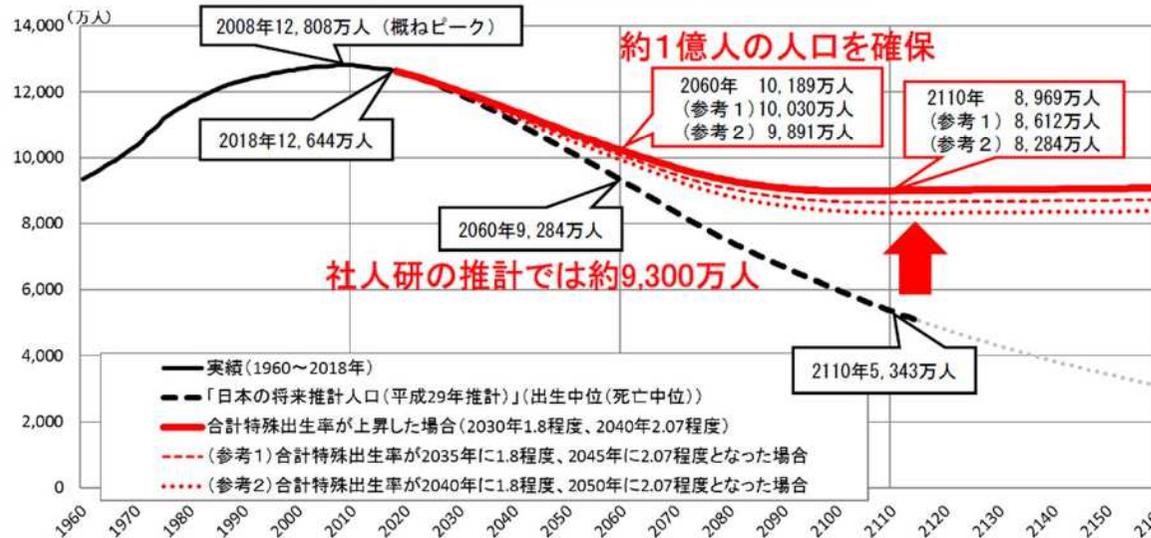
参考:まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(概要)



まち・ひと・しごと創生長期ビジョン (令和元年改訂版)

- 社人研の推計^(注1)によると、2060年の総人口は約9,300万人まで減少。
- 仮に合計特殊出生率が上昇^(注2)すると、2060年は約1億人の人口を確保。
長期的にも約9,000万人で概ね安定的に推移すると推計。
- 仮に合計特殊出生率の向上が5年遅くなると、将来の定常人口が約300万人少なくなると推計。

我が国の人口の推移と長期的な見通し



(注1) 社人研「日本の将来推計人口(平成29年推計)」(出生中位(死亡中位))

(注2) 「合計特殊出生率が上昇した場合」は、2030年に1.8程度、2040年に2.07程度となった場合について、まち・ひと・しごと創生本部事務局において推計を行ったものである。

(注3) 実績(2018年までの人口)は、総務省「国勢調査」等による(各年10月1日現在の人口)。2115~2160年の点線は社人研の2110年までの仮定等をもとに、まち・ひと・しごと創生本部事務局において、機械的に延長したものである。

人口ビジョンについて(2/2)



○これまでの経緯

◆平成27年6月

- ・人口減少時代において、地方公共団体における人口の現状分析を踏まえ、本市の目指すべき将来の方向性と、人口の将来展望を示す計画である「各務原市人口ビジョン」を策定。

※目指すべき将来の方向性

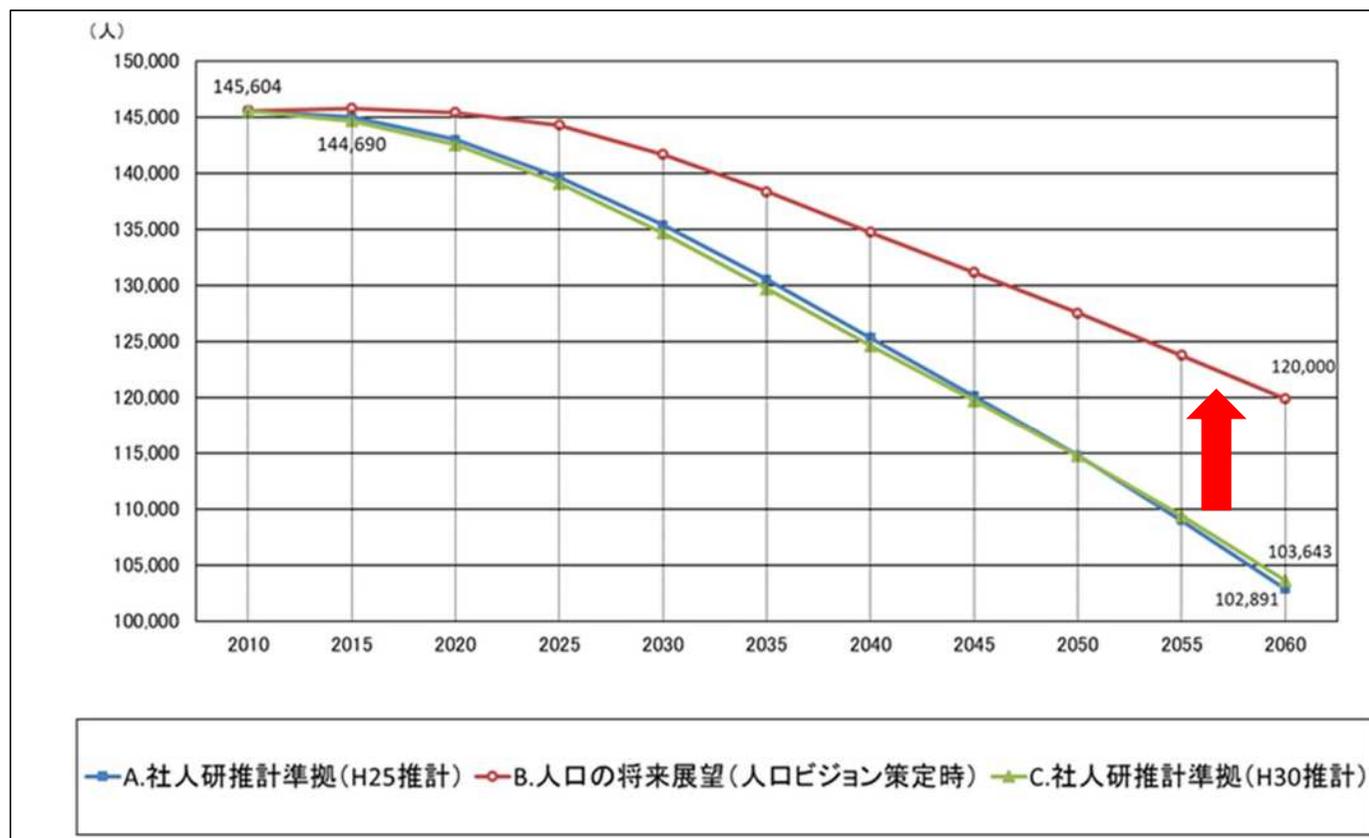
- ①産業・雇用 ②子育て・教育 ③魅力向上

◆令和2年3月

- 「各務原市人口ビジョン」を改定。
 - ・各種数値の更新、一部記載内容の見直しを実施



参考：人口の将来展望（各務原市人口ビジョン）



- ・令和42(2060)年には約10万人まで人口が減少すると推計
- ・人口減少対策に取り組むことで、12万人の人口維持を目指す

◆令和5年12月

- ・国立社会保障・人口問題研究所(社人研)より、令和2年国勢調査に基づく「日本の地域別将来推計人口」が公表。

◆令和6年6月

- ・国は、「地方人口ビジョンの策定のための手引き」を改定。
- ・手引きでは「適時に、人口動向分析・将来人口推計を行い、地方公共団体における人口の現状及び将来の見通しを見直すよう努める」こととされている。



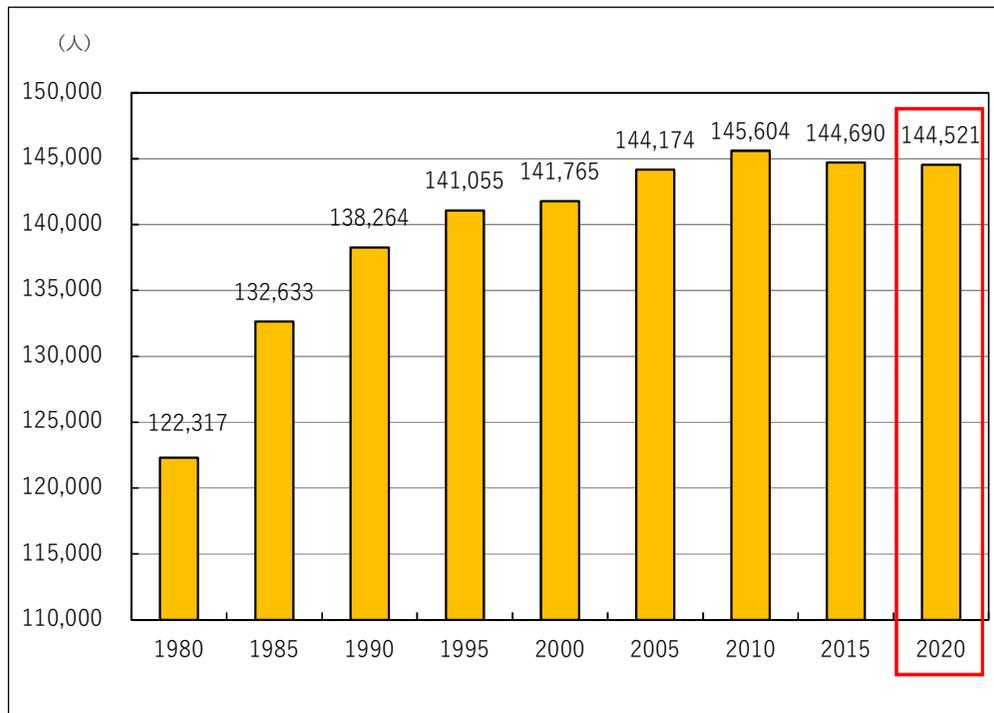
人口ビジョンを改定

人口ビジョン改定の概要(1/2)

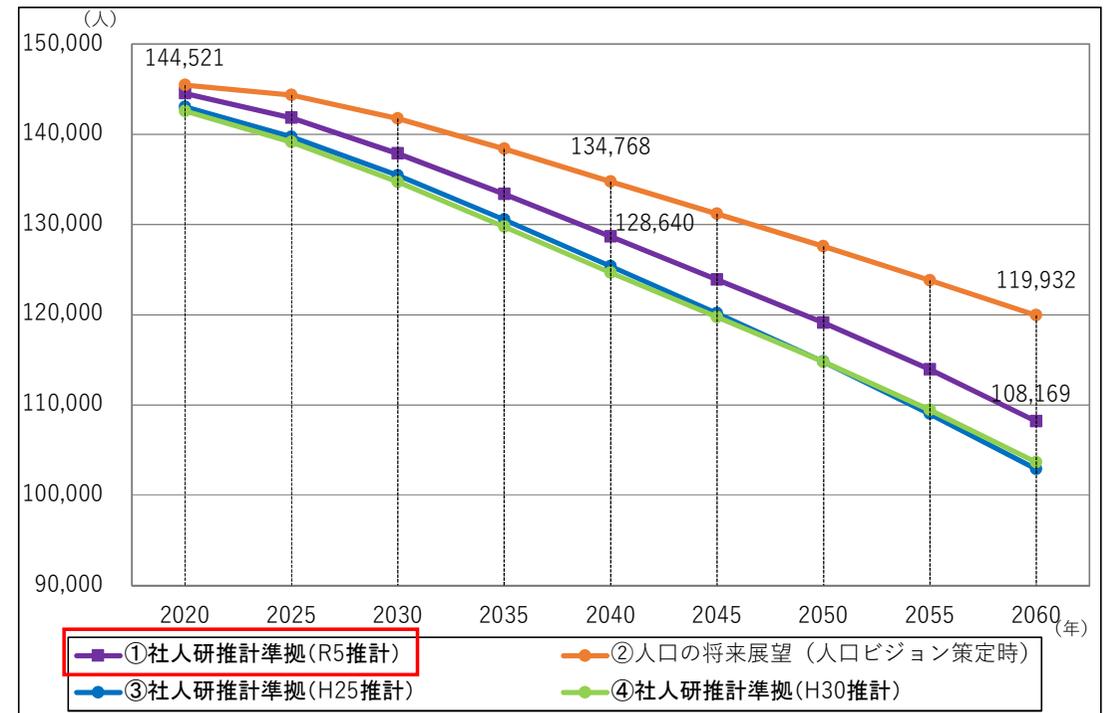


○人口に関するデータの更新、分析の修正

- 例)・総人口、年齢区分別人口等の人口統計データ
- ・将来人口推計のデータ など



総人口の推移

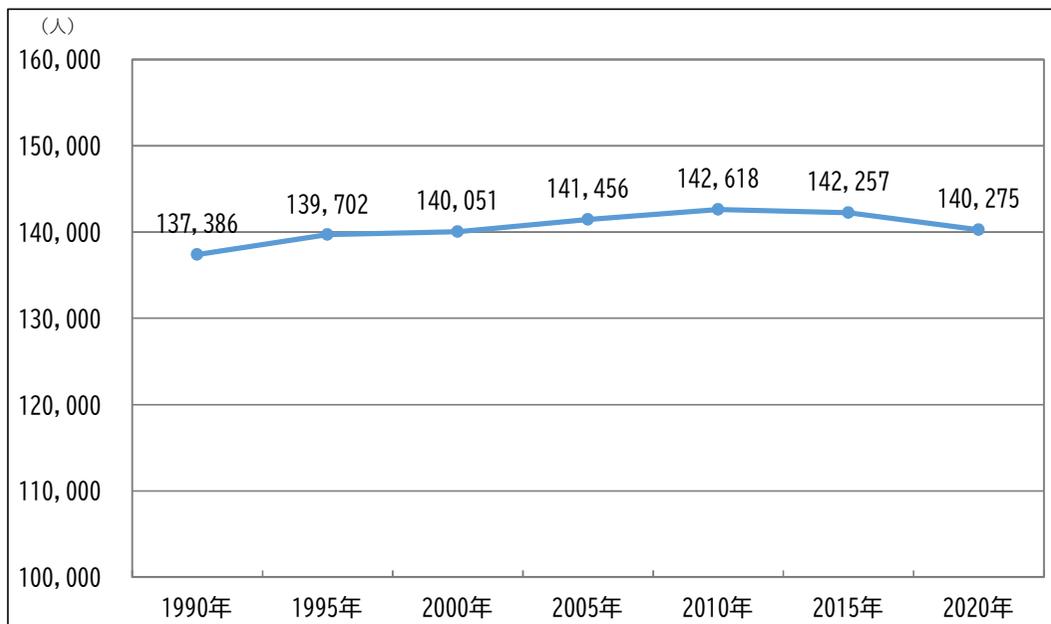


将来人口推計

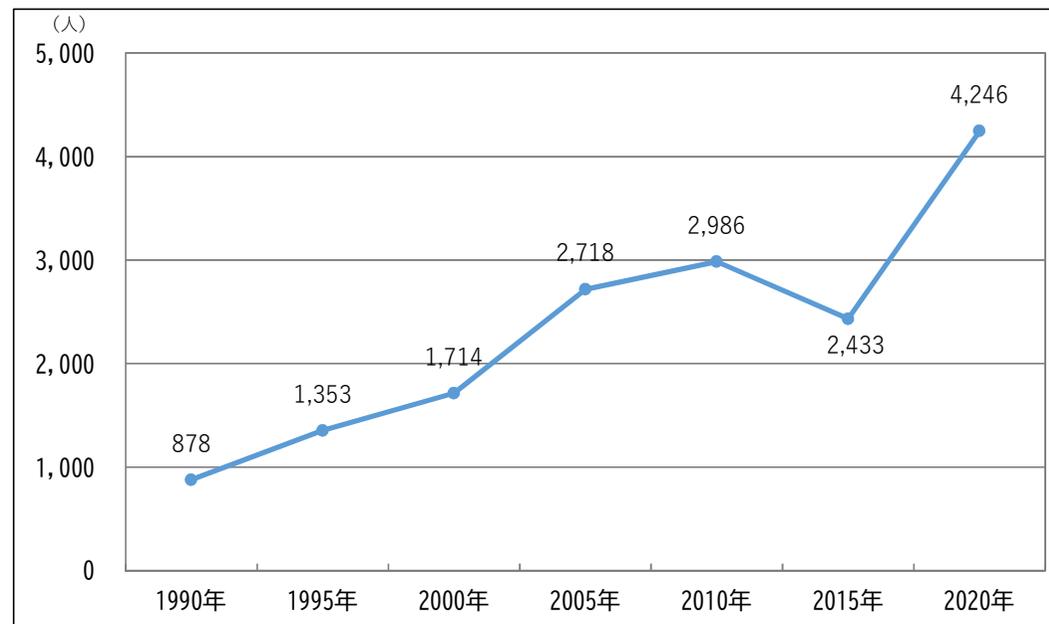
人口ビジョン改定の概要(2/2)



- 「地方人口ビジョンの策定のための手引き」の改定を踏まえ、内容の見直しを実施
 - ・例) 日本人人口、外国人人口の推移を追加 など



日本人人口の推移



外国人人口の推移

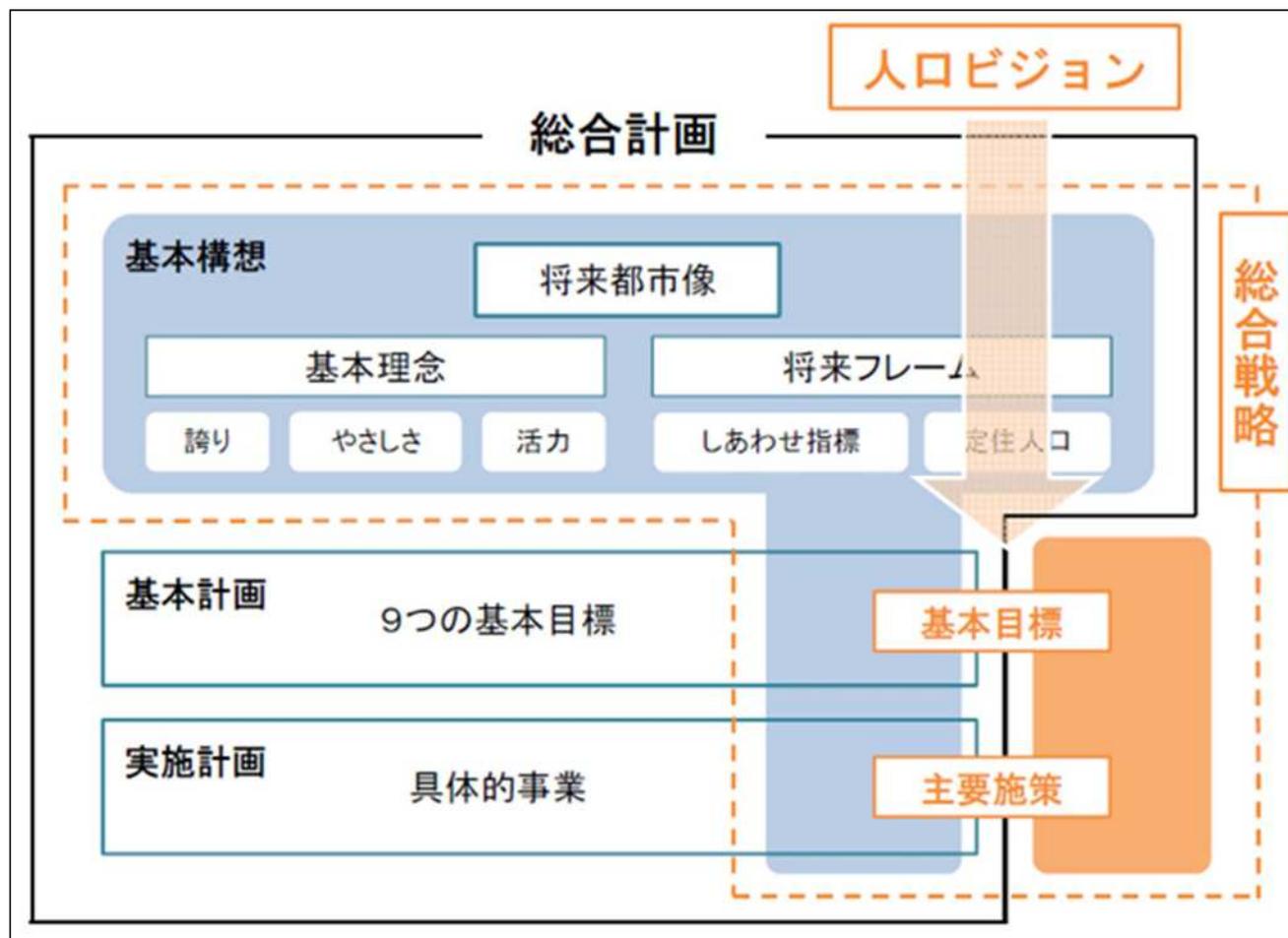
○総合戦略とは

- ・平成26年11月施行 「まち・ひと・しごと創生法」に基づく計画。
- ・国は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成26年12月に策定。
- ・東京一極集中を是正し、地方における「人」と「仕事」の好循環による持続可能な地域社会を目指すことを目的としている。

○しあわせ実感かかみがはら総合戦略とは

- ・本市において、総合計画の考え方、施策の方向性をベースに、国の総合戦略を踏まえ、人口減少対策と、地方創生の確実な実現の観点から再構築した計画。

参考：総合計画と総合戦略の関係



○これまでの経緯

◆ 平成27年10月

- ・総合計画に掲げた将来都市像や基本理念を踏まえ、人口ビジョンで示した方向性(①産業・雇用、②子育て・教育、③魅力向上)の実現に向けて、5年間(平成27年度～令和元年度)で取り組む施策の方針や数値目標を示す計画として「**しあわせ実感かかみがはら総合戦略**」を策定。

◆ 令和2年3月

- ・国や県の総合戦略、人口ビジョン、Society5.0、SDGs、総合計画後期基本計画を踏まえ「**第2期しあわせ実感かかみがはら総合戦略**」(令和2年度～令和6年度)を策定。

◆令和6年2月

- ・令和4年12月に策定された、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、「第2期しあわせ実感かかみがはら総合戦略」にデジタル要素を追加する一部改定を実施。

○追加した要素の例

〈産業・雇用〉

- ・市内企業のデジタル技術導入の支援、スマート農業の推進

〈子育て・教育〉

- ・母子保健のDX化の推進、保育士の業務効率化

〈魅力向上〉

- ・ウェブサイトやSNSを活用した情報発信、行政のDXの推進

参考：総合戦略の体系



戦略目標	施策の柱	施策の方向性
①いきいきと働ける「しごと」づくり 〈産業・雇用〉	1. 産業	(1)工業の振興 (2)商業等の振興
	2. 雇用・就労	(1)雇用・就労
	3. 人材育成	(1)多様な人材の育成 (2)次代を担う人材の育成
②未来を支える「ひと」づくり 〈子育て・教育〉	1. 結婚・妊娠・出産	(1)結婚への支援 (2)母子保健の充実
	2. 子育て	(1)子育て家庭を支える環境づくり (2)地域ぐるみの子育て支援体制の強化 (3)ワークライフバランスの充実
	3. 教育	(1)「たくましく生き抜く力」の育成 (2)安心して学べる教育環境づくり (3)家庭・地域・学校の連携による教育の充実
③魅力と安心の「まち」づくり 〈魅力向上〉	1. 発信・誘客	(1)シティプロモーション・移住定住の推進 (2)魅力あるイベントの開催 (3)観光資源等の活用と効果的なPR
	2. 定住	(1)市民協働によるまちづくりの推進 (2)文化芸術・スポーツ活動の充実 (3)安全・安心なまちづくり (4)良好な生活環境の整備 (5)持続可能なまちづくり
	3. 連携・交流	(1)広域行政の推進と連携の強化

○令和6年度

- ・本市の「次期総合計画」が策定される予定。総合戦略は、次期総合計画を踏まえた内容とする必要がある。
- ・現行の総合戦略の計画期間は、令和2年度～令和6年度のため、今年度が計画期間の最終年度。



総合戦略を改定

総合戦略改定の概要



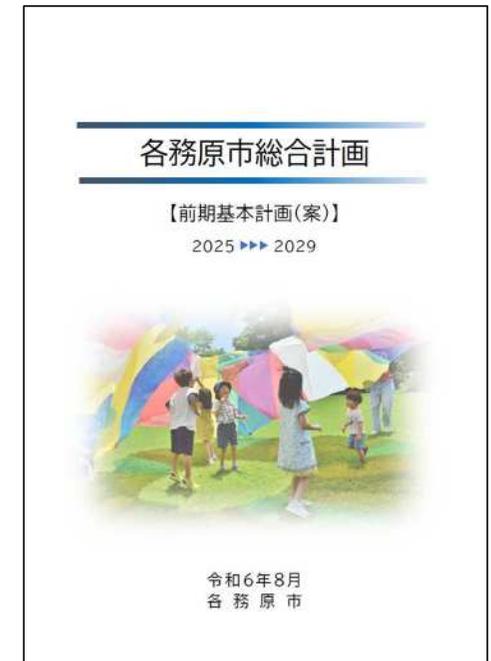
○現行の総合戦略の効果検証、次期総合計画を踏まえた改定

・現行総合戦略の効果検証

現行の総合戦略について振り返りを実施。
その内容を改定内容に反映する。

・各務原市次期総合計画

総合戦略は総合計画の考え方がベースの計画。
次期総合計画の内容を踏まえ、総合戦略を改定する。



・各務原市次期総合計画
前期基本計画(案)

(1)庁内検討体制

しあわせ実感かかみがはら創生推進本部

- ・市長、副市長、部長等で構成し、総合戦略の策定や、その諸施策を一体的に検討

(2)外部有識者からの意見聴取

しあわせ実感かかみがはら地方創生懇話会

- ・産業、行政、教育、労働、メディア、デジタル分野等の外部有識者で構成

(3)その他

- ・市民の意見を反映するため、パブリックコメントを実施予定
- ・令和7年3月、総務常任委員協議会において議会へ報告予定

人口ビジョン・総合戦略の改定スケジュール



	令和6年					令和7年			
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
全体	人口ビジョン 総合戦略 作成開始		人口ビジョン 総合戦略 素案		人口ビジョン 確定	総合戦略 パブコメ	策定		新戦略 スタート
しあわせ実感かかみがはら 創生推進本部 (庁内検討)	★ 交付金評価 改定方針		★ 人口ビジョン 総合戦略 意見聴取		★ 人口ビジョン 確定 総合戦略 パブコメ案		★ 戦略確定		
しあわせ実感かかみがはら 地方創生懇話会 (外部有識者)			★ 交付金評価		★ 人口ビジョン 総合戦略 意見聴取	★ 総合戦略 意見聴取			
議会								★ 策定報告	
パブリックコメント						★			

※国の地方創生に関する動向を踏まえ、スケジュールを変更する可能性があります。